

## —JNMS のページ—

Journal of Nippon Medical School に掲載した Original 論文の英文 Abstract を、著者自身が和文 Summary として簡潔にまとめたものです。

## Journal of Nippon Medical School

Vol. 87, No. 1 (2020 年 2 月発行) 掲載

**Natural Progression and Factors Predicting Growth of Retroperitoneal Schwannoma**

(J Nippon Med Sch 2020; 87: 24-31)

後腹膜神経鞘腫の自然経過と増大予測因子

北川泰之 金 竜 角田 隆 高井信朗

日本医科大学整形外科

**目的：**後腹膜神経鞘腫の増大速度など自然経過についてはまとまった報告がなく不明な点が多い。今回、後腹膜神経鞘腫の自然経過、および、増大予測因子としての MRI/臨床所見について検討したので報告する。

**方法：**2015 年 1 月から 12 月において当科受診歴のある後腹膜神経鞘腫のうち MRI にて 1 年以上経過観察した 8 例を対象とし、大きさの変化と MRI 所見/臨床所見との関連について後ろ向きに検討した。椎体の圧迫性びらんを有する症例においては、骨びらんの大きさの変化を病変そのものの大きさの変化と比較検討した。

**結果：**平均年間絶対増大率は  $1.9 \text{ cm}^3$ 、平均年間相対増大率は 5.6%、平均腫瘍倍加時間は 3.1 年であり、これらと関連する MRI/臨床所見はなかった。圧迫性骨びらんの相対増大率と腫瘍倍加時間は病変全体のそれらと比べて約 2 倍であった。

**結論：**後腹膜神経鞘腫の増大率は多様であった。増大率と MRI/臨床所見との関連は認められなかった。個々の症例により増大速度が異なることに留意する必要がある。特に圧迫性骨びらんを有する症例では慎重な経過観察を要する。

**Volar Locking Plate Fixation for Intra-Articular Distal Radius Fractures with Volar Lunate Facet Fragments Distal to the Watershed Line**

(J Nippon Med Sch 2020; 87: 13-16)

Watershed line を越える骨片を伴う橈骨遠位端関節内骨折に対する掌側ロックングプレート固定法

南野光彦<sup>1</sup> 小寺訓江<sup>2</sup> 友利裕二<sup>2</sup> 高井信朗<sup>2</sup>

<sup>1</sup>日本医科大学多摩永山病院整形外科

<sup>2</sup>日本医科大学整形外科

**目的：**Watershed line を越える掌側月状骨窩骨片 (volar lunate fossa fragment: VLF 骨片) を伴う橈骨遠位端関節内骨折に対して、掌側ロックングプレートを用いて内固定を行い、その有用性と適応について検討した。

**対象と方法：**対象は watershed line を越える VLF 骨片を伴う橈骨遠位端関節内骨折 27 例 27 手で、全例 Acu-Loc 2 distal plate を用いて内固定を行った。

**結果：**全例骨癒合し、Quick DASH 平均 13.6 点、Mayo Performance wrist score 平均 90.9 点で良好な成績が得られた。術後 ulna plus variance (UV) 矯正損失 2 mm 以上の 5 例では、VLF 骨片が縦径平均 6.7 mm、横径 9.0 mm、前後径 7.6 mm、橈骨関節面の面積  $38.9 \text{ mm}^2$  で、UV 矯正損失 2 mm 未満 27 例の VLF 骨片が縦径平均 8.2 mm、横径 11.9 mm、前後径 9.4 mm、橈骨関節面の面積  $57.6 \text{ mm}^2$  と比較して有意に小さかった。特に、UV 2 mm 以上の矯正損失が生じた 5 例をみると、橈骨関節面骨折型の新分類 Type 3a (骨片が掌側に転位) が 1 例、Type 3b (掌背側に転位) が 1 例であったが、Type 4 (sigmoid notch が粉碎し遊離骨片を伴う) は 3 例全例が矯正損失を生じていた。

**結論：**VLF 骨片の前後径、関節面が小さい骨折、あるいは Type 4 に対しては、遠位設置型プレート固定では限界があり、UV の矯正損失を減じるためには、さらなる内固定材の改良や骨軟骨移植等の工夫を要するものと考えられる。